

神の建造のためのキリストの増し加わり

聖書：ヨハネ 3:29-30. マタイ 16:18. 28:19-20. エペソ 2:21-22. 4:13, 15-16

I. 宇宙は人類のためであり、人類は召会のためであり、召会はキリストの増し加わりのためです——ゼカリヤ 12:1. 創 1:26-28. エペソ 3:9-11. ヨハネ 3:29-30。

II. 聖書における最大の予言はマタイ第 16 章 18 節にあります：「わたしは、……わたしの召会を建てる」：

A. この予言の成就がまだ完全に実現していないので、今日に至るまでも、最大の予言は成就されないままです——エペソ 2:21-22. 4:13-16。

B. 聖書の中心的で神聖な思想とは、神がご自身と人性とのミングリングである建造を願っているということです。そのような建造は神の家、彼の住まいです——出 25:8. I テモテ 3:15. エペソ 2:21-22。

C. 福音を宣べ伝えること、召会を設立すること、聖徒たちを成就することは、すべて神の主要な働き、すなわち建造の働きの一部分です——マタイ 16:18。

D. 神の建造は三一の神の団体の表現です——I テモテ 3:15-16. ヨハネ 17:22. エペソ 3:19 後半, 21：

1. 神の意図は、一組の人々を得て、霊的な建造として建造し、神を表現し神を代行し、彼の敵を対処して地を回復することです——創 1:26-28. I ペテロ 2:5, 9。

2. 地上で人によって表現され代行されるという神の願いは、わたしたちが共に建造されるのはじめて成就されることが出来ます——エペソ 2:21-22。

E. 神の建造の原則は、神がご自身をキリストの中で人の中へと建造し、人をご自身の中へと建造することです。神がご自身を人とミングリングすることは、神がご自身を人の中へと建造することであり、人が神とミングリングすることは、人が神の中へと建造されることです——3:17 前半。

F. 主は戻って来るために、召会が建造されることを必要とします。主の願いにしたがって建造された召会だけが、王国の時代へと至る踏み石となることが出来ます——マタイ 16:18, 27-28。

III. 神の家またキリストのからだとしての召会を建造するために、わたしたちは「すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」、主が命じておいたことを、すべて守るように教える必要があります——マタイ 28:19-20：

A. 人を三一の神の御名の中へとバプテスマすることは、彼を三一の神であるすべての中へと、神聖な存在の集大成の中へと浸すことです。

B. 主によって定められたバプテスマは、天の王国のために、人々をからだの生活の中へとバプテスマします——I コリント 12:13. マタイ 5:3. 6:33。

C. キリストの中へと移されている者はみな、キリストの増し加わりです——使徒 5:14。

D. 神の建造のためにキリストの増し加わりを得るために、わたしたちは実行において四つの段階を取らなければなりません。すなわち、福音を宣べ伝えて増し加わりを得ること、家庭の集まりを持って増し加わりを維持すること、小組の集まりを持って増し加わりを教え成就すること、召会の集会を持って、その中ですべての聖徒た

ちが預言することによって機能し、キリストのからだを建造することです—— 14 節。 I コリント 14:3-4。

IV. 召会はキリストのからだ、キリストの具体化であるので、召会の成長はキリストの増し加わりです——エペソ 4:15-16 :

- A. キリストの増し加わりだけが、召会の成長です——コロサイ 2:19. 1:18 :
1. 召会の成長は、その力や長所によってではなく、キリストの増し加わりによって決定されます——ヨハネ 3:30。
 2. 召会の成長の度量は、人数の増し加わりによってではなく、キリストの増し加わりによって決定されます——使徒 5:14。
 3. キリストの増し加わりだけが召会の成長です——ヨハネ 3:29-30。
- B. 神の願いは、キリストが召会の中で増し加わり成長して、キリストが召会の内容また要素となり、召会が「一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達する」ことです——エペソ 4:13 :
1. 神の働きは、キリストの身の丈の度量を召会の中で増し加えることです—— 3:16-21. 4:13。
 2. 神は、召会が成長してキリストの身の丈の度量に満ちることを期待しています。なぜなら神の願いは、召会がキリストのからだ、キリストの豊満となることであるからです—— 1:22-23. 4:16。

V. キリストのからだとしての召会を建造することは、信者たちの中のキリストの増し加わりであり、この増し加わりは彼らの命における成長です——エペソ 4:15-16 :

- A. キリストのからだとしての召会は有機体であり、有機体としての召会の建造は召会の有機的な成長です——コロサイ 2:19。
- B. 成長、増し加わり、建造は三つの異なる事柄ではありません。それらはキリストの有機的なからだに関して同義語です——エペソ 4:13, 15-16。
- C. キリストのからだの建造はからだの成長であり、肢体がすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込むことを通してです。からだは成長してからだを建造します—— 15-16 節。

VI. 主イエスは彼の復活の中でさらに大きな方法で宮、すなわち御父の家を建造し、それを団体の宮、すなわちキリストの奥義的なからだとしつつあります——ヨハネ 2:19-22 :

- A. 主イエスは彼の復活の日から、彼の復活の命の中で彼のからだを拡大してきました。彼は依然として復活の過程の下で、彼のからだの建造のために働き、復活の過程を通してわたしたちの上で働いています。
- B. キリストは復活であり命であって、死を命へと変えて、神の家を建造します。わたしたちのクリスチャンとしての生活は、死を命へと変える生活であり、キリストの奥義的なからだを建造します—— 11:25. 2:1-21。
- C. 御父の家は、三一の神が肉体と成ること、十字架、復活を通して、ご自身を信者たちの中へと造り込み、彼らと完全にミングリングされて、彼が彼らを彼の住まいと表現のために有機体として建造するという事柄です—— 14:2-3, 23。
- D. 神の御子、主イエス・キリストは、その霊により彼の死と復活を通して、有機体、

召会を建造しつつあり、それは彼のからだまた御父の家であって、三一の神と彼の選ばれ贖われた人々とのミングリングによって生み出され、彼の団体の表現となります。これはキリストの増し加わりであり、召会の建造のためです—— 7-24 節、3:29-30。

© 2016 *Living Stream Ministry*